

契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	堤防整備等に係わる評価手法検討業務
業 務 概 要	<p>堤防整備事業による費用対効果分析においては、「治水経済調査マニュアル(案)H17.4月」に基づき、河道計画に安全に流下できると評価される流量(無害流量)を算定し、その際、低水護岸や高水護岸、浸透対策等の質的整備の有無についても考慮することとしているが、それらの定量的な評価手法は確立されていない。</p> <p>本業務は、堤防整備における費用対効果分析を行う上で、質的整備について適切に反映させる評価手法を検討するものである。</p>
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 菊川 滋 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	平成22年 9月28日
契 約 業 者 名	八千代エンジニアリング(株)関東センター
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市浦和区岸町7-1-7
契 約 金 額	¥25,882,500円(税込み)
予 定 価 格	¥25,956,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	<p>堤防整備事業による費用対効果分析においては、「治水経済調査マニュアル(案)H17.4月」に基づき、河道計画に安全に流下できると評価される流量(無害流量)を算定し、その際、低水護岸や高水護岸、浸透対策等の質的整備の有無についても考慮することとしているが、それらの定量的な評価手法は確立されていない。</p> <p>本業務は、堤防整備における費用対効果分析を行う上で、質的整備について適切に反映させる評価手法を検討するものである。</p> <p>本業務を遂行するには高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務体制、特定テーマなどを含めた技術提案を求め、公平性、透明性及び客観性が確保される簡易公募型プロポーザル方式により選定が行われた。</p> <p>八千代エンジニアリング株式会社は、技術提案書において総合的に優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。</p>
業 務 場 所	関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	平成22年 9月29日
履 行 期 間 (至)	平成23年 3月18日
備 考	

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。